

The Tokyo Tanuki Times

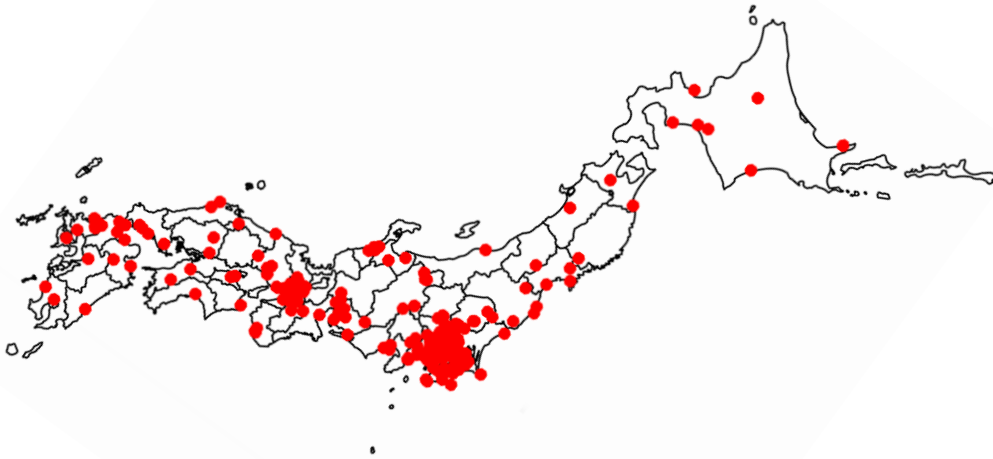
東京タヌキタイムズ

2015年8月号 通巻80号 毎月1日発行 購読無料

©MIYAMOTO Takumi,2015

責任編集：宮本拓海 発行：東京タヌキ探検隊！tokyotanuki.jp

ネット参加型調査に欠陥あり 必ずしも万能ではないシステム



東京タヌキ探検隊！の全データ(全動物)を日本地図にプロットした(2015年6月、データ数=3652件)。南関東は集中しすぎてつぶれてしまっている。東京都23区だけで全体の80%近い目撃情報がある。まだ目撃情報がない県は福井県、滋賀県、沖縄県。マンガースも対象なので、沖縄からの目撃情報もよろしく願います。

東京タヌキ探検隊！はネットを利用して目撃情報を収集しています。ネットで情報提供を呼びかけ、メールを送ってもらうという「ネット参加型」の調査方法です。

全国調査はうまく行かない

東京タヌキ探検隊！ではこのネット参加型の調査方法がうまく機能しているように見えます。しかしこのシステムは完全でも万能でもありません。

目撃情報を集めるということは、目撃する人間がいなければなりません。人間がない場所からは目撃情報はやって来ないのです。例えば青木ヶ原樹海や知床半島のように極端に人口密度が低い地域から目撃情報が来ることはまずありません。

ネット参加型の生物調査は東京タヌキ探検隊！の他にも例がありますが、その多くは残念ながらうまく行っていないとは言えません。全国規模でネット参加型調査を行なうと、目撃場所が都市部に集中してしまい、非

都市部はスカスカになってしまうのです。これでは意味のある調査結果にはなりません。

東京タヌキ探検隊！のやり方がうまく機能しているように見える理由は、東京都23区を中心に据えているからです。東京都23区は人口密度が非常に高く、山地のような低密度地域はあまりありません。これはネット参加型の生物調査に非常に適した場所だと言えます。

それでもいいのだ

東京タヌキ探検隊！の実際の調査対象地域は東京都23区だけではなく日本全国です。うまくいっている23区に対して、それ以外からの目撃情報は非常に少なく苦戦しています。名前に「東京」と付けているためかもしれないし、タヌキを日常的に見ることができる地域の人にはあまり関心がないことだからかもしれません。人口密度も当然関係しています。では東京タヌキ探検隊！の全国

展開は失敗なのかと言いますと、私はそう思っていない。

私の主な関心は都市部に生息する野生哺乳類です。目撃情報が都市部に集中したとしてもまったく問題はないのです。また、さまざまな場所からの目撃情報によって、どのような自然環境なら動物が生息できるのかということがわかるようになるでしょう。ですので都市部以外からの目撃情報もとても大切なのです。今はまだ結果が出ていないとしても私は楽観しています。

ネット参加型の調査は現在も発展途上の新しい分野です。試行錯誤をしながら利点欠点を明らかにしていけば、さらにいろいろな応用ができるだろうと思っています。

スポンサー枠

スポンサー募集中です！

全国のタヌキ、ハクビシンなどの情報を集めています。

<http://tokyotanuki.jp>